



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

5/23

原爆先生の特別授業は普段の国語や算数の授業とは違い、色々な
みかを感じました。原爆が落とされた当時の状況などは本やテキ
ストでしか読んだ事が無く、原爆先生の話を聞いている時には何度も自分が
知っている住んでいる世界とは違った世界があると思ってしまうほどでした。
私が原爆先生のお話を聞いて一番印象に残っているのは、お話の中でも
何度も登場した「義三」がトラックで現場に向かう途中、トラックに被
爆した人々が乗ろうとしてきたその被爆者をトラックに乗せようとしたら
その被爆者の肌が焼けていてはがれおちてしまい、義三は肌がなくな
った人の手を触って気持ち悪く感じたというところです。義三とその被爆
者は同じ人間であるはずなのにどうして義三は気持ち悪く感じたのだろう？
と思いましたが私は少し考えてから「人間は皆、自分自身の姿とは違う人や物を
気持ち悪く感じるものだ」という考えにたどり着きました。人は皆同じなのに
違う、と思わせているのはたった一発の原爆のせいなのだと思うと今まで
感じていたのとは違う戦争のむさんさを感じました。それと同時に今まで
広島のことをよく知らないうちから「原爆は怖い」と考え自分から戦争にまつ
わる話を読まなかったのも自分は無責任だなと反省しました。今回
の原爆先生の特別講演を聞いて広島に足を運んでみて広島
平和記念公園に行って今回の原爆先生の話を思い出しながら、今自分
が平和に向けて出来ることを最大限やろうと思いました。ありがとうございました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

5/23 用

原爆先生の授業を受講して、初めて原爆と書いて「あの、広島で長崎に
等とされるやうなくらい」だと思。ていながら、たが、今回の授業を受けて
原爆とは、どれだけの悲惨で残酷な事象であったのかということが分かりました。

そしてよしぞうさんの様に17歳という若く年齢で兵隊に召喚されて、その分、兵隊が
たいていいたと考えると今の日本は昔より平和でやさしくなると改めて思いました。

もし自分が生きていて広島にいて被爆していたらと考えると労働が凍ってしまいます。

広島に落とされた原爆「リトルボーイ」は全長3.2mというそんなに大きくないものの威力は
らあり広島の人口35万人中24万人が被爆、14万人の人が亡くなったと思わるといだけ
原爆とはこれだけの惨状のことが分かりました。

そして原爆が地面に落ちるときの温度である5000℃は自分自身から近いほどの高い温度なの
であらうと思はれたが、死体が水の中から出てきたとすると本当に熱いという言
葉で表せないくらい熱かった人だと思われました。

この音速より衝撃波の速さのほうが速いという事は音の前に衝撃がきたということ
なので建物などが起きたのか分からなかったが、おかしな音がしたと思いました。

死体の処理を有るとともに皮膚がはがれて汁がでてきたり、体がくさってしまったりする人
がいたりと思うとさすがに広島は悲惨な状況だ。たんだなと思えます。

二人なと死したアメリカはゆるぎないがもう二度とこの世界でこのようなことが起きこ
ほいなと思われました。今回の授業はこれから生きていくうえで大切なことを知るま
かけになりました。本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

わたしは広島と長崎に原子爆弾が落とされたことを塾で習い知っていました。しかしこれぐらいの人達が被爆し、死んでしまったのが正確な人数は覚えていませんでした。けれど今回の授業を受講し、被爆者数は24万人、死んだ人は14万人だと分かりました。たった一つの爆弾でたくさんの人達が一瞬にして死んでしまいました。もし自分が戦争が起きている時代に生まれていて原子爆弾が落とされた広島などに住んでいてまきこまれてしまっていたらと考えると体がゾクゾクとし、鳥はたがたります。戦争がうんでしまうことは悲しみと、絶望しかありません。なので戦争はおこしてもいけない、おきてしまってもいけません。戦争をすると悲しむのは自分達です。そしてわたしはこれから戦争がおこらないように祈ろうと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこ

表

私はいままで原子爆弾は有毒ガスが原因なのかな
と思。ていたけれど 本当は太陽の表面温度を起え
るような温度のばく発だと知り、35℃で暑いなと思、ても、
7000℃の熱に包まれた人たちは私たちの200倍もの温度をあび
て、いると思うと苦しかったと思います。

そして爆発でできたきのこ雲も上ほう気流が起き
てできることや、原爆ドームは元は広島県産業奨励館
だったことまで教えるくらい戦争が始まる前は立派な建物
だったと思うと原爆が落ちたことがくやしく思います。

建物だけでなく、広島市の人口の死者は350万
人の中の4割です。世界からすると数ない人数がとれる
いけれど私からするとものすごい人数だと思、います。
そんな大勢の方がなくなると家族もうしな、た人が
何人も何十人も何百人もいると思、います。戦争は
つらい思いをしてし、う、ひさんな事だ。これからは
平和な生活を実現し、亡くなる、た方々、亡くな、た方々の
家族や知り合いの入、るのかになれるようになりた
いと思、いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

原爆という言葉自体と、どこに落とされたかだけは前々から知っていたが、今日改めて原爆投下時の怖いことや、原爆についての色々なことを知た。原爆のおそろしさと、その被害による想像以上の悲惨さを知り、体が震えるほど怖くなった。先生の話を聞き、原爆と戦争がとておそろしく感じられた。私は体験していないから分からないが、実際はものすごく悲惨だものだろう。死と生が合おせている生活はつらか。たと思う。

攻め側の意図のくわしくは分からないが、たくさんの方が死んでいくということは、いいことではないはずだ。広島を原爆を落とされる前と後では、想像を絶する差であらう。私は光景を頭の中で思いつかべることすら出来なかった。今は原爆を落とされる前のように、ほとんどがまわりになって、被爆者もおとすれるとほっとするのではなからうか。今広島は平和のシンボルとなっている。被爆者はみな、二度とこのような惨事がおきてほしくないと思、ているに違いない。原爆で亡くな、てしまった方々のことを思うと胸が傷む。思い出そうと思わなくても、自然と思い出してしまう。だが、被爆者として、そのような生がましいものではない。肌で感じ、目で見ているから。この後、ずっと先の未来まで、平和の地であ、てほしい。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の特別授業を受けてみて、私は、今の生活は
とても幸せということに気付きました。戦争をしていた時代は
勉強もできず、ご飲もたくさん食べられなかったと思います。
今は、勉強もできて、たくさんのご飲を食へられるので、とても幸
せだなと感じました。

また、原子爆弾が落とされた時19才だった義三さんという人が体験
にお話しをしてくださったとき、原子爆弾は、想像していたより、もっと
おそろしくて、こわい物だと感じました。義三さんは陸軍の人で幸いにも
助かって、トラックで走っている途中に、「助けて」という声が聞こえてきて、
助けあげようと手をのばしたら、皮膚がめくれちゃったり、いたいを
おんぶして運んだりとかたくさん辛い経験をしています。

原子爆弾は、亡くなったり、熱くて苦しんでいた人もつらいし、
亡くなってしまった人を運ぶ人もつらいし、親や兄弟を亡くした人も
つらい思いをする、たれにもいいことがない物なのです。

これからは、戦争が起こった事をきちんとおぼえて
おいて、8月6日には手をあわせて、思い出したいと思
います。原爆で亡くなってしまった人のためにも世界
が平和であり、幸せな世界が、ていってほしい
です。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

原爆というのは、たくさんのお人の命をうばい、
いろいろな人を悲しい思いにさせるとても
ひどいものだと改めて思いました。

今まで、私は原爆のことをあまりよく知りませんでした。

しかし、今回の原爆先生の話を聞いていろいろなこともわかりました。

例えば、原子爆弾をおとす場所の条件があるということでした。

私は今まで、たまたまその場所におちたと思っただけでした。しかし、

原子爆弾がおとすと、場所には条件がありました。アメリカは、

とても考えて原子爆弾をおとしたということもわかりました。

他にも原子爆弾の大きさや温度など、たくさんのおことを知りました。

今回原爆先生の話を聞いて、義三おはすごいなと

思いました。また若いのにたくさんのお人が亡くなったすかたを見たと

思います。義三おはけ、して亡くなった人に彥原をそむけずにかんはった

と思います。私はこれが大変とこのような悲惨なことがないよう

な世の中になってほしいです。今、ロシアとウクライナで戦争がありますが

はやい終わって平和な世界になってほしいです。私は、原爆先生を

教えてくれたことばかりおぼれたいです。今度、実際に原爆博物館

を見に行きたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは原爆先生の授業を受けて、原爆はどのようなものかを知った。すわっている人も、いっしょんにしてか(げ)りのようなものにしてしまい、建物をものすごいいきおいではかいし、超高温高速の衝撃波がおそってくるおにけ(げ)り(おにけ)りといふことです。話を聞いてみると、みんな必死で伏せもえってくるしみ、爆発でなくも死んでしまふという恐怖があり、うで(うで)の皮がはがれ、水にとひ(ひ)か(か)む(む)が水が蒸発してなくなってしまうといひ(ひ)せん(せん)さ(さ)を知った。原子爆弾はみんなにとって恐怖で、福岡(福岡)の人(人)はなん(なん)と(と)有(有)炭(炭)を(を)も(も)や(や)して(して)雲(雲)を(を)う(う)く(く)た(た)とい(い)う(う)話(話)が(が)あ(あ)った(た)。またよく考え(考え)て(て)い(い)る(る)色(色)々(々)な(な)しく(しく)み(み)が(が)そ(そ)な(な)え(え)ら(ら)れ(れ)て(て)い(い)る(る)が(が)た(た)め(め)に(に)お(お)そ(そ)ろ(ろ)しい(しい)もの(もの)と(と)な(な)っ(っ)て(て)し(し)ま(ま)った(た)。そして、ぼくはそう(そう)な(な)ら(ら)な(な)い(い)た(た)め(め)に(に)は(は)一(一)等(等)の(の)争(争)争(争)を(を)ん(ん)て(て)お(お)う(う)し(し)を(を)い(い)ひ(ひ)が(が)一(一)番(番)だ(だ)と思(思)った(た)。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

広島と長崎に原爆がおとされたのは知
ていましたが、とても悲しい出来事としか
受けとめていませんでした。

ですが先生が、シーンと静まった中、急に「和
一」とさげんだのには、びっくりしました。戦
争が本当にあったら、とびっくりしたん
だと思いました。おとされた原はくは、
太陽の表面温度よりも高いと聞き、も、と
おどろきました。それで、亡くな、てしま
った人が、何万人もいるのです。そう思
うと悲しくなりました。さらに、放射せん
で、いまだに苦しんでいる人もいるの
です。

今、私達はとても平和です。そんな平和
に感じました。だから、戦争の話をか
たり続ける事は、未来の平和につな
がると思います。これからも、すー、とこの
平和が続いたらいいなと思いまし
た。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくはこの受講を通して考えた
 がある。それは「原爆はもう使わな
 くれ」ということだ。なせなら、原爆
 を落とすと死者被爆者かてる。被爆者は
 言っていたように「面打って「断つ」と言
 び「手を止めてのべて、手はつかぬぞ」やけ
 などをして皮も肉がはがれかちる。
 そうすると、手を止めてのべた方が、止
 むらた方が「うれしい」とはならない。
 逆に「断つ」といふのがないで、特
 他には、被害が大きいということになる。
 それが「原爆」だ。これを見た若者が
 大半が「断つ」といふのは、理
 戦争はいい。日本はもう戦争など
 したに、条約、日本国憲法を作った。日本
 をよくなると思っている。
 ほとんど結果、断つはいい、原爆
 は使わなれど「ほしい」と思っている
 と、よい機会だと思つた。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

原爆先生が話しているときにときどき考えこんでいたのを見て、原爆について話すことの苦しさや、その場に自分がいたかのように感じている辛さが伝わり気がつくまで感情移入していた。

原爆の辛さや苦しみ、悲惨さを一言一言丁寧に伝えようとしている人が今、自分の目の前にいるのだということに心が動いた。

今現在世界で原爆が落とされたことがある国は日本だけである。

原爆はただの爆弾とは違い熱線や衝撃波だけではなく、放射線が出る。

実体験に近いものを聞くことで「臨場感」が感じられた。

戦争の時代に生きていた人は少なくなっており、戦争の記憶はうすれかけてしまっている。原爆についての本を読んだり資料館へ行ったりして原爆や戦争についての記憶を余り切れさせないことが今、たれにでもできて最も効果的な記憶をのこしていく方法だと思う。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ぼくは、この授業をとまして、いろいろなことを思いました。また、戦争の悲しみを矢りました。ぼくがこの授業を受ける前までは、偉大な大したことではない。ぼくに、ぜんぜん関係ないと思っていました。しかし、この授業をとまして、ぼくはこの原始火暴弾という悲劇を未来へつなげていかなければ、またこのような、たくさんのお世い者が出ることになってしまいます。また、この授業の言葉で「戦争がこんなに苦しく、こんなにあつけない人間などの生き物が死んでしまうことをして胸が苦しくなりました。ぼくは、このようなことが、今ウクライナで起きていることを思て、さらに、戦争をやめてほしい、核兵器をこの世からなくして、同じ人間であるため、もう争わなくて、皆平等で生きてほしいと思っていました。そして、戦争で死んだ人もよる」と思いました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

自分は、広島や長崎の原爆資料館に行って、
こわいなあ〜と思、てい、ました。今日、原爆
先生の話を聞、いて思、たんです。現場にいた
人たちはも、とこわくておそろ、しかったらう、
として、人類はおそろ、しい物を作、てま、ったと
いうこと。さらに自分も、ひ、おば、ちゃんが広
島に住、んでいて、8月6日、名古屋旅行を、して、
今、自分が、いるということをお、か、た、く思、いました。
話の途中、男、生のだんま、つま、のような声、が聞、こ
え、ました。が、あ、の時、も、つ、く、ま、の、人、の、だ、ん、ま、つ、ま、
聞、こ、え、た、気、も、し、ました。あ、の、後、も、爆、心、地、に、近、う、
い、て、い、く、と、皮、ら、ん、服、が、く、つ、い、た、人、や、う、て、が、し、れ
て、ま、った、人、な、ど、も、い、る、と、い、う、こ、と、も、知、り、原、爆、
い、う、も、の、が、ど、れ、ほ、ど、お、そ、ろ、い、も、の、か、も、知、り、ま、し、た。
あ、れ、で、も、よ、し、ぞ、う、は、仲、間、と、一、緒、に、遺、体、を、処
理、す、る、な、ど、軍、隊、の、命、令、と、は、い、え、あ、ご、い、こ、と
た、だ、思、い、ま、す。こ、の、よ、う、な、人、た、ち、が、い、て、く、れ
た、か、ら、広、島、や、長、崎、に、は、死、も、活、気、が、あ、る
の、だ、と、思、い、ま、す。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は原爆先生の話を聞き「戦争をして人の死」という言葉を

容易に発してはならないと思った。特に私はトラウマの話に

ぞとれた。私は、焼けた肌か、濡れた汗かんに

ぼうぼうと落ちていく様、皮ふと皮ふがふれた時の痛々

さりを知らない。だが、自分のすぐ近くで助けを求められ、

それに応えようとしてもなかなかできない無力感を想像する

ことのできる。それを想像した時、私はぞとれた。

また、ある姉弟の話も聞いた時も同じくぞとれた。足がらうじ虫が

出てきたのを見たようにぞうは、どう思ったのだろうか。

もし私だったら、恐怖で何もできずにっせってほったと思う。

そう思うと、彼はとても勇気があるのだということも

わかる。私は原爆先生の話を聞いて、よしぞうのような

勇気を持つたいとも思った。

私は原爆先生の話を聞いて、思ったことが二つある。

それは、一度と戦争のことについて話してはならない

こと。そして最初から言ったように、「戦争」、「人の死」という言葉を

容易に発してはならないということだ。

この二つを大切に、私はこれからは生きていきたいと思

った。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

5/3

原爆の資料館に義三が訪ねた時、義三は、「きれいすぎる。」と、ツギを言いました。私は、マネキンに「けて」も、「恐い」と思っていましたか、「きれいすぎる。」と言った。私は、その「きれいすぎる。」は、今生きているという実感から、「きれい」というフレーズがでてきたのかと思ったり、そのしゅんかんに、義三が、本当に言いたることとは、「現実ほも、と、も、と、む、で、絶望的だ。」と、言うことだった。原爆先生の授業で、もっとくわしく、原爆のつくりをおしえてもらった時、義三が被爆者でなくて、本当に良かったと思いはした。なぜかという、この体験を後に伝えられたが、たし、1人の人間として、助かったことも、良かったからである。他にも、原爆が落とされた時、電話局の地下のトイレにいて、たまたま助かった人もいます。他にも電話局にいて、助かった人も、外に出た、その熱い、がれきなどで、亡くな、てしま、た人も、たくさん、たくさんいました。「助けて」、「助けて、兵隊さん。」と助けを求められても、助けられなかった、義三も、とても苦しく、も、た、た、た、た、た、と、し、じ、を、思、い、ま、し、た。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆は広島に落ちたけれど、他にも小倉長崎、
横浜新潟京都が被爆した。広島は原子爆弾が
（しかも更に原爆は雲霧状にしては熱線や
放射能の被害がある）落ちた。
この原爆が落ちた爆心は3~4000℃とも
のすくすくこの温度は鉄も熔けるくらい。
その原爆が落ちた9632mから落ちて来た激
した地点が約4km（空を飛んで来た）
の上空（約10m）で爆発（たいてい爆心は
650m以上にある）大丈夫と見えない
被害も1000に達したらしい。
広島に落ちた名前が「胖子」です。
広島に落ちた理由は①敵の拠点を破壊する。②平
野を焼く。③空襲が効かなくなった。
広島原爆犠牲者追悼館は、被爆を受けた
1000名（名前は知らない）の犠牲者について
も死んで（お父やお母）犠牲者になったり
苦しんだりした事を知ることが出来る。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

わたしは原爆先生の授業を受け、わたしは信じて来た事だ。
 として、今後、日本で戦争が再来するといった思いの考える本機会
 をくれた。わたしは信じて来た事だのはよしでうさんという人が
 体験した物語の中にある空は何ともいえない色にうつまわっていた
 だ。わたしはその文章を思ったし空を見てもたまたま空色にうつまわっている。
 今思うと想像が出来ない。でも空は何色でもない色に染まる
 とたしかにゾクとする。その次は再び、アメリカは原子爆弾を落と
 す条件だ。①直径5kmを越える。②平野であること。
 ③空襲が本がた。よくよく考えてみるとその月広島はたまた
 ま空襲がよくなったため落さされたのだ。
 今の時代はロシアとウクライナが戦争している
 今、考えると戦争はたまたまのたまたまにたまたま
 火を点のたまたまにたまたまにたまたま。
 戦争はたまたまのたまたまにたまたまにたまたま
 とも今時代はいいけど、戦争を早くやめた方がいい
 と思いた。
 この先、二度と戦争がないとは言えない。もしも戦争が
 ない。でももしも戦争を止めれば、もしも戦争も少く命を落とす
 人も少なくなると思う。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

広島や長崎に原子爆弾が投下された
 ことは知っていたが、リトルボーイなどの
 の爆弾の先鋒が、リトルボーイが落ちた
 爆撃機 投下する都市の条件爆撃
 機がどこから飛び出たか、着いた場所、
 爆発した場所と温度、衝撃波の速さ、
 きのに雲の作られ方、被爆者数と死亡数、
 落ちた後の軍の行動などのくわしいことな
 どはほとんど知らなかったのです、とても良い機
 会となった。とくにおどろいたことが、爆発
 した温度と、きのに雲の作られ方であ
 る。太陽は六千度なのに対し、爆発した
 温度は百万度であるのだから、比喩
 物にならぬにとびつらした。きのに雲の作ら
 れ方は一度真空状態になり、瞬間に空気が
 入り、上昇気流となる。水もこの空
 気に蒸発して上にあがり雲となる。すると、とんど
 ん雲が空にたまり、限界の高さまで
 くと流れていき、きのに雲が下りてくる。



原爆先生の特別授業を受講して

じゆこう

表

名前は裏面に記入してください

Handwritten notes on lined paper:

1. 原爆先生の特別授業を受講して

2. 先生は、平和の大切さを教えてくれました。

3. 先生の話は、心に響きました。

4. 先生の話は、心に響きました。

5. 先生の話は、心に響きました。

6. 先生の話は、心に響きました。

7. 先生の話は、心に響きました。

8. 先生の話は、心に響きました。

9. 先生の話は、心に響きました。

10. 先生の話は、心に響きました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生のお話を聞いて、思ったことは、
じゆうこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

今回の原爆先生のお話を聞いて、思ったことは、
二つあります。まず原子爆弾が投下される
条件です。直径5kmを超える所です。平野で
あること。今まで空襲が一回もなかった所です。
これを聞いた時にはびっくりしました。なぜなら、
原爆を投下するのに、そんな条件あるなんて、
思っていませんでした。

次に、広島に投下された原爆に名前がついて
います。リトルボーイです。日本語で表すと
「少年」と言売出のです。重さ約4tですが、
高さ9632mから落としています。

爆発されたら、地面は、3000° かわりは、17000°
です。

金矢もかんたんにとけます。

だから、かんたんに「戦争」などというては
いけません。最初は、初めて、戦争のつら
さと、かなしさがわかりました。

原爆先生の話しととても共感しました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

池田義三さんは、普通21才で入るはずの軍に4才も早い17才で入ったのにおどろいた。動画などを見ているときに、義三さんが経験したことは全体に二度と起こらないでほしいと思った。候補になった都市が六つあると聞いたときには、びっくりした。京都が一番候補が7つあったのにおどろいた。理由が、山にかこまれていて人も多し五板の目のように家がたしき人あったから、と聞いたときは、アメリカ人はなんてひどいんだと思ったけど、京都には古くからお寺があって人類には大切な場所だからやめた、と聞いたときは、少し良い人だな、と思ったけど、だからといって広島市長山崎に原爆を落とすのはひどいと思った。今まで思っていた広島原爆のこととより、また色々なことが笑われえよかった。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受けて、すべて
思うことがあるのですが、その中の一つ思った
ことがあります。

それは、最後に先生が見せてくれた
義三さんのビデオにもあった、展示物と本物
とでは違うと言っています。

たしかにそうかもしれないと思いました。
展示物の方の人間では、本物と同じ位に
さい現されているのだから、思いですか、本物と違う
のは、生かしただったり、動けなかったり、声とか
色々あってこそ分かることだって、色々とあると
思います。

本物を体験した 義三さんは、ぜひみんなにも
味わってほしいと思うのでしょう、けど、どんな
にさい現しても、味わえない現実が
あると思います。

だけど、これが戦争が人々を、その人し
か分からないことがある。のたと思われました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

義三さんのお話しを聞いて、ドラム缶の
のろで、軍用トラックを待っていたその
時に原爆が降ってきたので、トラック
を運転していらした人はどうやって
生きのこったのか気になりましたが
死なないうえはかたと思はれた。そして、
原爆のせいで、人間の形が変な
りまして手足がばらばらになつた
人がたくさんいたおかげなので地獄と
うぜんだと思はれた。そして、最後広島から出
る時に、生きている人間をかたげて良
かたなと思はれた。そして、義三さんは
広島から出るまで、最後まで人助けをして
いた。人類の鏡のような人だなと思
いました。そして、義三さんが死んで
しまつても、兵器や原爆のおそろし
さを伝えていかななくては、みんなが
兵器などを使いまくってみんなが死
んでしまつて悲しい世界になつてしまつてしま
うからです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆が爆発したときの温度が太陽よりも高いことや、原爆雲のできるしくみなどが知らなかったことがたくさんあった。

広島に投下された原爆の名前が「ネトルホーン」なのかなどの疑問ができた。

原爆によってやけどを負った人たちが実際にどんな感じだったのかなど、興味のかい話もあった。そのときの様子は気になるが、グロい映像はあまり好きではないので見てみたいとは思わなかった。

原爆が爆発したときに真下の外にいた人たちはいっしょにあとかたもなく焼けてしまったという話を聞いたとき、皮膚が焼けただれてすごい激痛を感じて少しして結局死んでしまうよりはそっちの方が痛みもなく良かったんじゃないかと思った。せくなってしまった人はもちろん、その遺族などの人々も悲しいので、もう二度と戦争はしてほしくないと思った。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこ

表

広島県に、アメリカ軍のB29が
 原子力爆弾を落としたということは
 知っていたものの、8月6日の朝に落ちて、や
 何人の方が亡くなったという とても怖い
 ことについて話をしてもうて
 分かったことがたくさんあるし、なによし
 戦争のお話が分かったので
 わざわざ戦争はもう二度とするものではないと
 思いました。これを考えてみると
 今戦争をしているウクライナとロシアに
 これと同じようなことがおこってしまうのでは
 ないかと心に引かれてしまいました
 たった3mの爆弾で、広島にくらしていた
 人々、約24万人を被爆させてうち
 14万人の人達の命をうばったことは
 絶対に忘れてしてはならないし
 原爆による心と体に傷を負った人のためにも
 今、平和に生きていく人全員の命のためにも
 とにかく「戦争をしない」ということは言葉のメソ



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

にもならず、逆し人をまわつけてしまうのが、
単純に戦争はするものではないという
ことをはじめてしんけんし考えることができて
決しい気持ちがある一方、
逆しその真実を知り、悲しい気持ちにも
なりました。



じゆこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回の授業を受けて、私が一番最初に考えたことは、被爆し、大けがを負った、または亡くなってしまった人の気持ちです。自分も広島で被爆していたらどうなっていたか、想像してみようと思いました。でも、いくら考えても、その答えは出て来ずになく、分かりませんでした。分かるわけがなかったのです。なぜなら、自分は被爆したことも、その映像を見たこともなかったから。よく考えてみれば、今回も授業を受け、戦争のさくさくさは、少しは分か、たつもりでした。しかし、それは、いくら分かりやすい解説を聞いたところで、分からない、分からないものだ気がしました。また、分からなくて良いものなのだと、私は思います。確かに戦争について知り、どうしたら戦争というみにくい争いなくなるのか、考えることも大切なことだと思います。そして、実際に被爆した人からすれば、何も知らない私がこうして戦争について書いているのかとさうだと思つてしょう。私にも被爆していたら、世界中の人に同じ苦しみを与えたいと思うかもしれません。でも私たちは知らなくていいのではないのでしょうか。最終的には戦争という言葉がなくなるくらい平和な世の中になってほしいです。そして、そういう世界がなくなるまでは、戦争のことを語り続け、そのような出来事が今後絶対に起こらないようにしたいと思つています。そして私はこれからも、今回の授業のことを忘れず、も、とたくさん原爆について知り、自分の子供の世代にもそれを伝えられるようにしたいです。今回、この特別授業を受けられたおかげで、本当にたくさんのお話を考えさせられました。絶対に忘れられない経験となりました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

僕は今日の特別授業を受講して、原子爆弾のおそろしさと原子爆弾がどのような物かを知ることができました。原子爆戦には、3つの強があるということを知りました。それは、熱線と衝撃波と放射線でした。僕は熱線と放射線は知りませんでした。僕は池田義三さんの体験を聞いて、原子爆弾が大きな音をたてて衝撃波を出し、それが音速よりも速いスピードで進むことを知りました。僕は、原爆先生が原子爆弾の爆発音を言った時、僕は池田義三さんと同じくらいびくりました。と思いました。池田義三さんは、吹き飛ばされたと言っているのだから、そんな訳はないなと思いました。池田義三さんは、その後、トラックに乗って爆心地の近くに行きました。しかし、トラックに乗っている移動中の時に、やけどを負っている人たちが助けて、と言っている人に手を差し伸べても皮がはがれ落ちてしまい、助けられない上に、その痛みが苦しんでいる様子を想像するだけで、僕は、ゾーンとしてしまいます。僕たちは怖くて、爆心地に行くことができないかもしれないなと思いました。僕は原子爆弾がどんなに怖くておそろしいかを改めて知ったため、もう二度と投かされてほしくないという気持ちが深まりました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の分かりやすい表現、一つ一つの言葉に重みを出しながら戦争や原爆について説明してください。たことにより戦争がどれほど恐しく、苦しいのかを改めて深く知りました。私は、原爆を投下されて死んでしまった人は本当に苦しかったのだらうと思いました。なぜなら私達のような国民は、戦争に一切関係ないのに、原爆という名の一つの爆弾で存在を一瞬にして消されてしまったからだと思います。皮膚がただれ落ち、顔などに大きなやけどを負っている。考えるだけで自分の腕までもが痛く思えます。原爆をあびて死んでしまった人は成仏したのでしょうか。私は成仏してくれていると思います。なぜなら、今の日本は日本国憲法の平和主義があるからです。なので、安心して成仏してくれていたらいいなと思います。なので私はもう二度と戦争が起これないでほしいと願っています。私はこれ以上戦争によって苦しむ人が出てほしくない。今日は原爆先生のおかげでこのような気持ちが強まりました。本当に感謝しています。

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com
ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

70000の爆 いうのは「トルボーイ」の事だと話と聞いて思いました。「トルボーイ」というのは原子爆弾の事で「向」という意味を持っています。時速 3000mに落下していき上空 100mで70000で爆発しました。つまり70000の爆であると思っけした。

戦争というのは非常に恐ろしい事だと思います。広島市内の人口が35万で被爆者24万人と約70%の人が被害を受けています。死者は14万人と40%の方が亡くなっています。池田義三さんは皮ふがただれた人やもはや人間ではないのでは?という人々を涙山見て来てその人々たちを思い出したのはすごいと思います。そういう辛い経験をした人がいるからこそ日本は生きてこれたのだと思います。今思っけは1945年8月15日ポツダム宣言を受諾して終戦したのは良かったと思います。数多くの犠牲者を出してしたのはとても残念です。原爆先生が「おと原爆の事」を言い続ければ「その思いが後世に伝わって」と思っています。9日間義三さんはとても辛い思いをしたと思います。僕達の時代は平和であることが幸せであるということをおと原爆先生の授業で改めて感じています。ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

5/23

私は、今回の授業を受けて強く思ったことは改めてもう戦争はしてはいけないということですね。

私は四年生のころに広島原爆ドームをみたけれど、今日昔の写真を見て原爆ドームの周りが今とはちがくてとても信じがたい写真でした。私は、授業を受けて四年生のころの自分より戦争がどんなにこわいことなのかを今日の写真をみて強く思いました。私は、原爆先生から「太陽の表面積が6000℃だから太陽がせまってくるのと同じことですね」と言っていたのを聞いてすごくおどろいたし、とてもこわいなと思いました。私は、今まで戦争はこわいものだから写真などをみないでおこうなどして戦争のことをさけていたけれど、きちんと日本人として学ばないといけないなと心の底から思いました。

私は、このような戦争について語る人たちがちがう人へと受けついで、どんどん日本の小学生の子たちに戦争について知ってもらいたいと思いました。戦争はとてもこわいことだけれど、きちんとしていこうと思います。もう戦争は絶対起きてはならないことだと心の底から今日の授業を受けて思いました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

5/23

原爆先生の特別授業を受けて、僕は改めて戦争の悲惨さを身にしみて感じました。なぜなら一つ目の理由としてスライドの中にもあったように原爆にあった人たちの中には手などに衣服がくっついていたり、先生の話の中にもあったように人間であるかさえ分からなくなったりしていたと聞いたからです。二つ目は原爆によって巻き起こされてしまうことの中には放射線があったからです。今から11年前にあった東日本大震災で原子力発電所が壊れてしまったので今も福島には放射線が残っているが原爆でも放射線の影響があると知ったからです。それ以外にも熱線の影響で地面が3000℃になると聞きほとんどの物が溶けてしまうのはさかばにあつきると思います。もしこのようなことを自分が受けていたら、義三さんのように命令があったとしても逃げたままではいるだろうなと思いました。これからの時代には原爆と似たようなことはもちろんこのような戦争が起らない事を僕は今回の授業で改めて感じました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゆこう

表

名前は裏面に記入してください

11

私は原爆がどういうものか、くわしく知りませんでした。でも、今回の特別授業を受けて原子爆弾がどういうものか、そしてそれが、どれだけ人や建物を一瞬で無くしてしまう程の力があるのかを知って、びっくりしました。さらに、池田義三さんが後書いた日記の内容を聞いていると、さらにショックを受けました。原子爆弾は私が考えている程、あまり事ではなかったのです。むしろ、その何十倍もひどいものでした。途中でスクリーンに映った原爆ドーム内の写真を見ている時、私は「この悲惨な出来事を、後世に残すために少し恐めに人形を作っているのかな」と、思っていました。でも、義三さんが「ほ」と言った「きれいすぎる」という言葉に、ドキッとしました。きっと原爆の恐しさは原爆を体験した人にしか、分からないのだと思います。でも、その気持ちから分からなくても分かろうとするために調べたりするのは大切な事だと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生、今日は1945年にあった太平洋戦争についての特別授業をありがとうございました。

私は、今回の授業を通しておどろいたことが4つあります。

1つ目はたくさんの人を焼きつくした「衝撃波」です。高さ9632mから落とされた約4トンもある「リトルボーイ」によって土からはねかえった秒速440mもある3000℃の「衝撃波」をもし自分が浴びたらと考えたら熱くてすぐに死んでしまうだろうと考えたので、その「衝撃波」を本当に浴びて死んだ14万人もの人がとてもかわいそうに思いました。2つ目は、被爆して皮ふがとけたり、いっしょんで「かげ」になって死んだ人が義三たちの兵隊さんに助けを求めて助けられたが、死んでしまった人たちが「痛み」に苦しみなから死んで行ったことです。この人たちのためにも今の私はこの人のおかげで命があるで戦争に入らして知る。



原爆先生の特別授業を受講して

じゆこう

表

名前は裏面に記入してください

私は本気で戦争の恐怖を知っているつもりでした。向うをなくした子、親をなくした子... もと怖くて悲惨な目にあつた人、たとえば皮膚がただれている人などを知っていました。でも実際にみたわけではないのでそれをみな人の気持ちなど知りません。ひどい悪臭がするなんて考えていませんでした。今回、はじめて原爆が落ちてきた時、太陽が落ちてきたのと同じくらいだということを知り、とても驚きました。地上に落ちてきた時、鉄がとけてしまうほどの温度よりも約2倍だと知り、とても驚きました。原爆が落ちてきた候補に京都が入っていたのをはじめて知りました。最初は京都を強く推していたことを知り、でもどうして入らなかったのかなと思いました。京都には大切な文化財があるからという理由だと知り、よく思いました。爆心地にいた人はかけものにもかきずりであつたななく消え去つたと知りました。階段に座っていたり、我原爆で消え去り座っていた場所に黒いかげのみが残っていたというのは前にもどこかで聞かしていました。原爆ドームにいた人たちは骨だけになつてしまつたというのをはじめて知りました。でも150mのところにいる人が助かつたと知り、とても驚きました。なんでその人は助かつたんだろうと思いました。その人はコンクリートでできているたてものの地下のトイレにいて助かつたと知りました。でも助かつた人たちもほんの線より死んでしまつたと知り、悲しかったです。原爆爆雲のことは知っていました。色はにごつたグレーかなのかなと思つていました。でも、実際は黒、まぶさき赤... けれどキレイではないう色であることを知りました。戦争はあつてはならないものです。しかし今、ウクライナとロシアで戦争がおきています。太陽が落ちてくるそんなことを考えられません。戦争をなくすることを人はできません。でも戦争の恐怖を教えらることはできます。戦争のことをこれからいふと、



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

これから先、原爆についての本を読むことがあるかもしれないが、実際に話を聞いた方がその時の緊張感や恐怖心などの様子が話の方によってとても強く感じられると思うので、こういう場所でぜひ原爆について学んだり聞いたりできたらのほどもよか。たと思う。さらに、原爆について知っていたつもりでも原爆投下都市と奪る条件というものがあり、「直径5kmを超える」「手野である」「空襲がなかった」などという事で京都も候補と奪っていたが、アメリカ側が日本のことを考えて、京都におろ奪なかったことや、有名奪手10隻がああ形にな。た理由など、知らないことはたくさんあ、ということに気が来た。

私は「義三さん」が体験した話を聞いて、自分の体の皮ふが焼けただけでしまい、肉が見えてしま、た。たとえ生きていたとしても呉隊に助けを求めて生きたいとは思いません。

奪む奪ら 私は原爆が広島に落とされ、5分の2の人が奪れ、ているといえる中では、仲の良い友達や家族が亡く奪てしま、いるかもしれないから奪です。私は友達や家族が原爆というものを急に落とされることにお、て、いなく奪てしま、た。世界で生きていくたくはない奪です。塾でも全身をわけごをしま、た。子の話を読んだのですが、それが自分の家族ならた場合は何て言ないと思、います。奪ので他人のこと

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

たと無視を奪すに、も、と原爆につてまたこのよう奪ることが起こらないよう奪世界にむいていきたい奪です。



じゆこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受けて、私は、原爆は本当におそろしく、もう絶対にあってはならない事だ”と改めて思いました。また、広島に原子爆弾が投下されてからの写真を見ても、きれいな”た軒が”一気にぐちゃぐちゃな町に変わってしまった。また、兵隊さん達に助けを求め人もいた。そして、原爆がおとされてしまう時に鳴り響く、私かもしこの原爆を体験していたら、私たちが聞いた爆発音よりも何十倍も大きいと思うと、本当に怖いんだ”なと思います。また、被害は広島だけでなく、長崎も同じように原子爆弾が投下され、多くの人が広島と長崎の原爆によって亡くなってしまったと考えると、すこしくさしくなります。また、この当時の広島県民の5人に2人がこの原子爆弾によって亡くなってしまいました。また、亡くなってしまった人のほとんどが全身やけが”によって亡くなってしまい、鉄がとける温度の何倍も熱いものによって皮膚が”とけてしまったとあの話を聞いて、泣いてしまいました。そして、原爆とはどういう物なのか、資料館などに行って自分の目で見てみたいと思います。

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com
 すてきなお話をありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は、もちろん戦争を体験したことがありません。でも今回の話を聞いてどんなことが起きていたのかということを知りました。私は元々戦争のことを知らずとしていたから、たの話を聞いてよかったです。

私はよしろうさんがおおいなと思いました。なぜならオセオで、軍隊に入り、上官候補生に選ばれて放射線を浴び、何十人もの死体を運んで燃やしたりしていたからです。

今も戦争が起っています。また戦争が世界中に広がれば、何十人いや何百もの人たちが命を落としてしまふことになると思います。だからもうたれにも死んでほしくないのです。だからこそ今回の話を聞いて戦争がこんなに悲しくて怖いものだとよく分かりました。話を聞いたただけだったけど本当に体験したような気持ちになりました。

最後に見たビデオで、よしろうさんが話ながら泣いていたことから、それだけ辛い人だなと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

「戦争」という単^{たん}独^{どく}いを授業前は軽^{かろ}かた^たが、授業を通してだんたん^{だんたん}と重^{おも}くなっていった。原爆^{げんばく}がどのような物^{もの}がよ^よくお^おか^から^らな^なか^かた^たが、ただ落^おと^とさ^され^れただ^{ただ}け^けでも熱^{あつ}風^{かぜ}や衝^つ撃^{げき}波^{なみ}と放射^{ほうしゃ}線^{せん}という三^{さん}つ^つの^のこ^こと^とが^があ^あっ^った^たの^ので^で「フ^フでもす^すこ^こい^いか^かがある^{ある}こ^こと^とを^を学^{まな}ん^だ。さ^さら^らに^に地^ち面^{めん}は^は太^{たい}陽^{やう}の^の温^ぬ度^どの^の半^{はん}分^{ぶん}の^の3000³⁰⁰⁰度^どとい^いう^うそ^そう^うぞ^ぞう^うつ^つか^かな^ない^いほ^ほど^ど熱^{あつ}そ^そう^うだ^だつ^つた。

その原爆^{げんばく}が二^にか^か所^{しよ}にも^も落^おち^ちて^てい^いる^るこ^こと^とは^はも^もう^う何^{なん}万^{まん}人^{にん}も^もお^おち^ちな^なり^りに^にな^なっ^って^てし^しま^まい^い、そ^それ^れを^を見^みた^た義^ぎ三^{さん}さ^さん^んは^は何^{なん}も^も言^いえ^えな^なか^かつ^つた^たと^と思^おう^う。聞^きい^いた^たけ^けでも^{でも}痛^{いた}々^々し^しか^かつ^つた。

アメリ^あカ^かの^の作^{さく}戦^{せん}の^の考^{こう}え^え方^{かた}が^があ^あつ^つた^た。ち^ちゃ^ゃん^んと^と落^おと^とさ^さり^り位^ゐ置^ちも^も目^め標^{ひょう}に^に近^{ちか}か^かつ^つた^たか^かう^うだ。

その当^あ時^{とき}に^にほ^ほく^くは^は生^いき^きて^てい^いな^なか^かつ^つた^たの^ので^で、「ど^どん^んだ^だ」け^けの^の重^{おも}苦^くし^しさ^さが^があ^あつ^つた^たの^のが^がお^おか^から^らな^ない^いが^が、今^{いま}日^ひ学^{まな}ん^だで^で思^おい^いた^たよ^より^りも^もは^はる^るか^かに^に越^こえ^えて^てい^いる^ると^と思^おう^う。ま^また^た、戦^{せん}争^{じやう}で^でせ^せく^くな^なつ^つた^たち^ちを^を毎^{まい}日^ひ毎^{まい}日^ひい^いの^のり^りて^てあ^あげ^げよ^よう^うと^と思^おつ^つた。

さ^さら^らに^に学^{まな}び^びを^を深^{ふか}め^める^るた^ため^めに^に広^{ひろ}島^{しま}の^の資^し料^{りょう}館^{かん}や^や原^{げん}爆^{ばく}ド^ドーム^{ーム}に^に実^{じつ}際^{さい}に^に行^いっ^って^てみ^みた^たく^くな^なつ^つた。



原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

僕は、原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して
もう一度と戦争をしたらダメだなと思ってきました。
なぜかというと、だいにいせがいた、りせん んみだいに
に異のない人のりの方をうはってりと思つた。そして
そして戦争は、げんば^{ろく}におゑろし士をしいました。
なんどげんば^{ろく}は^{ろく}はあつしたとまに7000度にちなる
てうです。そして太陽が6000度の、太陽が広島
に来た。りを74です。そして広島の人、
35万人、ちばと者、24万人死者、14万人を
なりました。そして死亡率は約40%です。と、
5人に2人はなた、なんです。と、
思いました。そして、死者40万人の中、2万人は、
-Lightに1/4だけ死んでる、
そして2人に1人はなた、りか、け、
なりました。そして、
みんなをなと思いましたが、
まぢな、
と思ってきました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

原子爆弾は思っていたよりもはるかに強い
力をもっていることを知り、おどろいた。

原爆がどういうものなのかを知ったら、今のロシアが
こわくなってきた。「リトルボーイ」という名の原子爆弾は、
7000°Cという太陽の表面温度よりも高い温度に
いっしょくでなると、それが落ちてくると思うと、
体のふるえが止まらなくなるほどおそろしく感じた。

被爆者は、川などの水がいっしょくで
蒸発するほどの高温だったということしか
こわかった。きのこ雲がどらやうて出来たのか
を知られてよかったが、その時に、地上では
真空のじょうたいになってしまうことにおどろいた。

今思うと、原爆は落とさなくてもよかたん
じゃないかと思う。日本はもう降参くしよう
していたし、しかも、日本がでこうほうとしていたなら、
一発でじゅう分だと思いうから、二発も落とした
意味が分からなかった。今、ロシアがウクライナに
原爆を落とそうとしていたが、そういうことは、本当に
やめてほしいと思った。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

5 / 23

私は、戦争のことを知りたいなと思、ていたけれどいつも言聞てられなか、たので今回は、原爆先生のお話しを聞けて、すこくよか、たと思いました。今までは戦争はただの争い事みたいなのかな、と思、ていたけれど、戦争はこんなにたく土んの人たちが亡くな、ているんだな...と感じます。戦争に、原子爆弾の条件などがあることを知りませんでした。例えば、直径5kmを超えることか平野であること、空襲がなかつた所など、3つの条件があ、たことともしっかりルールはあ、るんだと思いました。候補になつた都市があ、てその中に京都があ、ることは意外だと思、います。結果的には入らなかつたけれども、原爆をおとす所をしっかりとめていて、すこく思、っています。戦争というのはたしかに、はげしくてすくおどろしい戦いだけれど、しっかりと意味があ、て、しっかりと場所もきめてすこくいと原爆先生の授業を聞ける人な事を知りました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

5/23

僕は今日、原爆先生の話聞き、原子爆弾のおそろしさを改めて実感しました。「兵隊も、助けて、助けて」と叫ぶ人間の容姿をしていない被爆者の姿を頭で想像すると気がくる、てしまいそうになりました。義三さんのストーリーを聞いて、次の二点に注目しました。一つ目は助けた、命があっても助けられない時があることで、トラックに乗せてあげようと引っぱった時、皮うかがずるりと取れてしまい、被爆者の事を見て見ぬふりをしなくてはならなかった事が僕にとって、人間の悲し、弱さを親習するチャンスでした。二つ目は「戦争をして良い事はない」ということです。原子爆弾を落としたとしてもお金は降ってるはずもなく、ただただ人間の「命」がけずられ、人の不幸が増えていくだけなのです。ほくは「戦争」が、国民にたぐひの被害が及び、苦しみを受けていることを今日実感し、この「地球」から戦争がなくなって欲しいと心から原真いました。今、ウクライナとロシアが戦争をしていますが原爆はまた落とされていません。日本が最初で最後の被爆地であって欲しいと心から僕は思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

実際に1年前、広島の実爆ドーム、原爆資料館を訪れ被爆者の写真や遺品の数々を見て悲惨さを感じたのだが、今日、被爆者の証言を聞いて改めて戦争の悲惨さを体感した。原爆が落とさせた当時の状況などを実際に聞く事が出来て良かったと思う。また、改めて日本国憲法にもある「平和主義」の重要さを思い知れた。

遠い親戚であるが、自分の従兄弟の叔父の父親が戦時中に長崎において原爆を体験したと言っていた。長崎は盆地の為、投下した時の被害が大い。それでも生き延びた事にも感心する。

さらに、自分の親族(曾祖父の兄弟)が満州等に戦争に行っていたのでその話を聞くのも良いと思った。今思うが、池田義三(上等兵)の様が20才にも満たない若者が、死体がそこら中にゴロゴロ転がっていたりする光景を見るのは今ではおびおびに思えた。非核三大原則があるが、改めて核の使用を防ぎたいと思えた。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今回の特別授業を以て、あらためて原爆の恐ろしさを実感できました。京都は原爆を落とす候^{きょう}に補^{おぎな}になりました。ですが、この^{きょう}に補^{おぎな}がう除外^{とわい}されました。この理由が、ほとんどもは原爆を落とす側^{がわ}も、しっかり考えてくれた人など思いました。広島に投下した原爆「リトルボーン」の、大きさと重さは分かったが、その原爆の中には何が入っているかが、気になった。原爆が、爆発した時の、温度が中心部で、百万度、外側が、七千度という高い温度で、六百メートル程上に太陽があるのと同じで、爆発した直後の広島は、灼熱の海になっていったんが、なりました。また、衝撃波の強さで、建物が壊れるので、落ちた場所の真下にいた人たちは、一瞬にして、死んでしまった人が、なりました。そして、この一つの原爆で、十四万人が、とらえ、二十四万人が、被爆者になるほどの威力を持っているので、原爆がなくなるとはいけません。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

広島県に原爆が落ちてきて多くの人が死んでしまった。ほとん
 は、この理由は日本のまがたが負けを認めなかったから
 だと感じます。最初からこの戦争をしなかった人は
 人たちが死んでしまうことがなかったのになぜ戦争をする
 のかには思いました。別に自分の土地も増さなく
 ても、幸せにくらせたのに自分の欲望のために戦争をして
 人の命をうばうのはおかしいことだと思えます。そして戦争
 をずらとしていた結果、原爆が落とされてしまった。だが
 ほとんは強兵力を持っていて、戦争をしたくないと思
 います。戦争は、人の命のうばいあいなりで人の命をもっと大
 切に思ふ方がいいと思えます。命を大切に思ふことで
 戦争をする国などから感るけれど、それでも戦争はやめ
 ない国があると思えます。また、その国だけを差別する
 のではなく、戦争以外の方去で戦争をやめるべきだと思
 います。そして戦争に打っていた費用が、よほど多くの人たちを雇
 けたりするべきだと思えます。たがらほとんは原爆が落とされた
 のは日本だけか、他の国では原爆を落とすことのないよ
 うにしたほうが、いいと思えます。また、たかさんの人たちが殺すとは
 ないようにするべきだと思えます。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

名前は裏面に記入してください

僕は原爆先生の特別授業をさせてもら
 へ、戦争の怖さや悲惨が深まりました。
 深まった理由は2つあります。

1つ目は広島県や長崎県に爆撃された原子爆
 弾の恐はを知らなかった。2つ目は熱線が爆弾の
 表面温度が7000度で太陽の表面温度は、
 6000度です。そしてその爆弾は地上から約
 600mはなれていきます。つまり太陽が地上600m
 まだ接近したということになります。2つ目の怖さは
 衝撃波です。この速さは440m/分と、音速より速
 はるかに高いらしいのです。3つ目は放射線です。
 この放射線はもし被爆して生き残ったとしても、
 長年苦しめるそうです。

2つ目の深まった理由は皮膚がタラタラの人が沢山
 いて、人だとは思えないと義三さんの日記に書いてあ
 るらしく、皮膚がタラタラになった姿を想像するとゾッ
 としました。最初に見せてくれた「7000度の少年」という題名
 は原子爆弾のトリボーンだったのかなと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

今日受けた原爆先生の授業は、私にとっては知らないことだらけで、授業中、一生懸命資料にメモしながら、私はおどろいてばかりでした。特におどろいたのは、原爆を落とす都市として、6つも候補が上っていたということでした。私は、私の母や祖母が住んでいた（住んでいる）都市の名をその中に見つけて、この都市に原爆が落とされなくて良かった、心の底から思いました。

全身に大やけどを負った人の話を聞いたときは、とてもゾッとしました。姿を想像して思、たというのもあるけれど、もし、自分もそうなら、ていたら、と、思、たからです。太陽よりも熱いなんて、とても想像できないものではないけれど、さ、と、とても苦しくて、痛いと思います。被爆した人がけがなく、大切な人を失ってしま、た人も苦しいと思います。私は今日、たくさん知識を得ることができました。原爆先生、今日はありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆や戦争について、今までいろんなことを勉強してきた。ほとんどのことを知っているつもりでいたけれど、今回の原爆先生の特別授業を受講して、まだまだ知らないことだらけだったと実感しました。一番おどろいたのは、広島と長崎に8月6日と9日に落とされた、原子爆弾の力です。熱い、放射線があるということくらいしか知らなかったけれど、投下された原子爆弾リトルボーイには、熱線、衝撃波、放射線があり、そのあつさは、太陽より強いということにとてもおどろきました。またアメリカ軍も原子爆弾を投下するにあたって、投下都市の条件が、第一、第二、第三候補があったこともはじめて知りました。原子爆弾投下が戦争は、そうこの先二度としてはいけないことだと今日の授業をうけて思いました。この原爆によって、多くの人々の命がうばわれたこと、その後も、原爆による病気が家族が失われた人がいるということをしっかり考え、これから先も、二度と戦争が起らないといいなと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

ほぼは原爆先生の特別授業を受けて、
原爆を受けた人々が全身かみやけどを負
て皮膚赤いボロボロの状態でものをななめにかたむけ
ながらはいかに助けを求めてた事を知って
原爆はともにも恐ろしい存在ということが分か
りました。

原爆による色々な建物が燃えたり、衝撃
波による、とんだり、それによって行く所
をなくしたり、大ケガを負ったり、命を
おとしたりして、世界は本当に残酷なん
だだと思った。

義三さんの動画を見て、作られた原爆に
よって全身かみやけで皮膚がくずれおちたり
してる物と自分で見たものとは全くちが
う物だと分かったし、義三さんが話していて、
思いだして泣いてしまうほどつらい
糸野島さんだ、ということが分かりかんと
ぼて生きてきたんだなと思った。